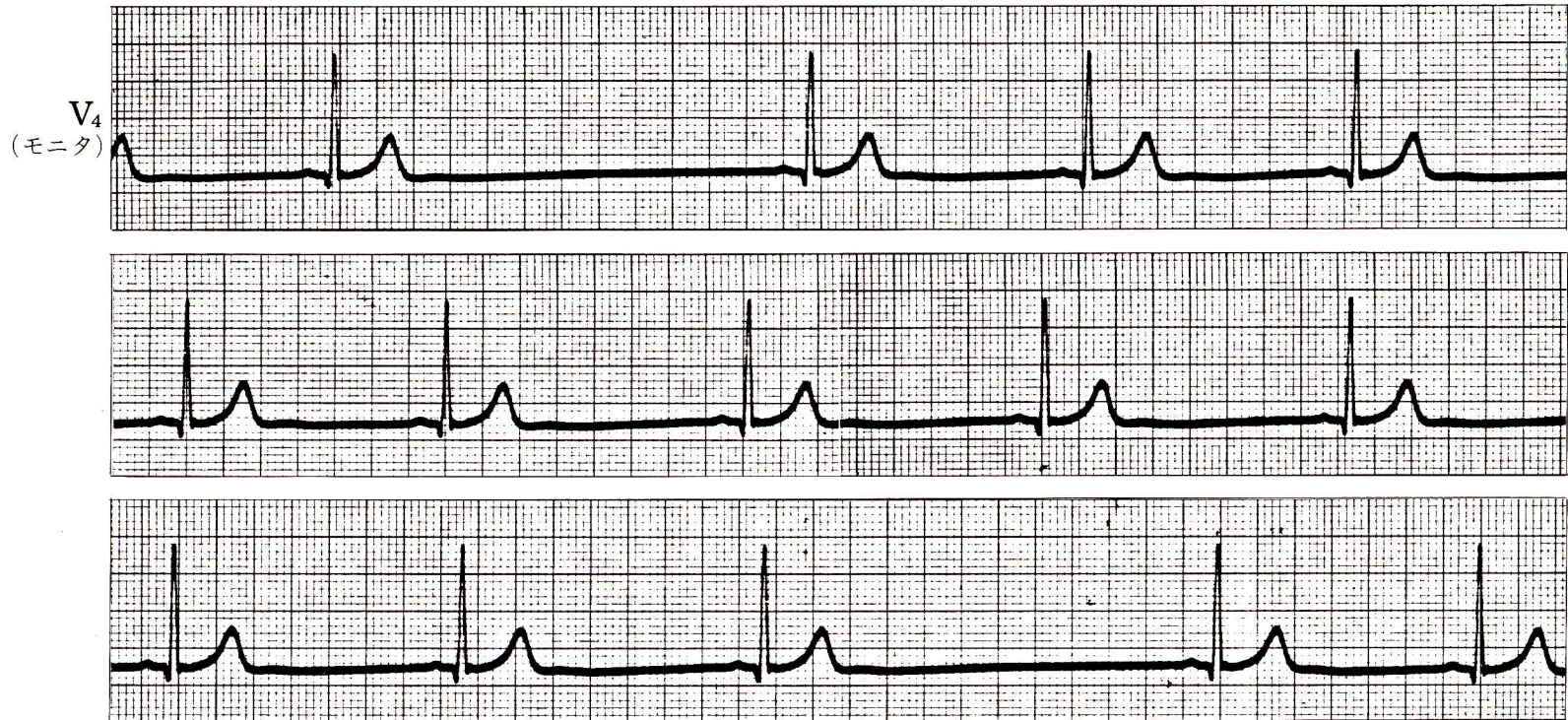


症例 5

●38歳 男

大動脈弁閉鎖不全症のため人工弁置換術を受け、抗凝固療法を続けていたが、激しい頭痛、嘔吐、右上下肢のしびれ感を訴えて入院した。



(連続記録)

- 1) このリズムは何か。
- 2) 基礎疾患としては何が考えられるか。

心電図診断

洞徐脈＋洞不整脈

心拍数約36/分。

RR間隔は不整で、特別な規則性はない。

QRS幅は狭く、P波はすべてQRS波を伴っている（房室ブロックではない）。

解 説

人工弁置換術後、抗凝固療法施行中の患者で、このような症状がでた場合には脳塞栓または脳出血の可能性を考慮しなければならない。

この患者は脳出血であったが、徐脈は頭蓋内圧亢進によるものと思われる。外科的に脳内血腫を除去することにより、症状の軽快を得るとともに、徐脈も改善し、退院した。